

「環境教育インストラクター応募資格取得セミナー」

平成 27 年 10 月 10 日(土)・11 日(日)にヒューライツ大阪セミナー室にて環境教育インストラクター応募資格取得セミナーを開講いたしました。

参加者は 9 名でした。

< 1 日目 >

9:30 から受付を開始し、10:00 にセミナーが始まりました。

司会進行は大阪環境カウンセラー協会副理事長の吉村氏。

初めに、オリエンテーションとして大阪環境カウンセラー協会の副理事長である吉村氏が挨拶をしました。



続いて大阪環境カウンセラー協会の水藻氏が「環境教育インストラクター認定事業の意義」について説明した後、講義が始まりました。

一番手は近畿地方環境事務所対策課の課長である川崎 雅貴氏。本年度の「図で見る環境白書」をもとに「平成 27 年度 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書・我が国が歩グリーン経済の道」というテーマで講義されました。



川崎 雅貴氏



前田 芳聰氏

1 時間の休憩をはさみ、午後からは 4 人の講師の方々からお話していただきました。

まず、昨年このセミナーを受講された前田 芳聰氏が「世界の水問題」というテーマで日本水道法・水道水質基準や世界保健機構・飲料水質ガイドラインや米国環境保護庁・安全飲料水法 水質基準などについて講義されました。

次に、中川 育男氏が「森を守る」というテーマでお話をされました。

樹木医として活躍されている中川氏は樹木の治療管理や植生調査・里山管理計画の検討などをされていますが、小学校の授業や企業依頼による講演もされており、樹木に対する熱い思いを語ってくださいました。



中川 育男氏



上口 浩幸氏

続いて上口 浩幸氏に「水質調査を例として」というテーマで講義していただきました。

ペーパークロマトグラフ実験や食品を使った液性の実験など身近なものを使って実験する方法を紹介していただきました。また手回し発電機を使って白熱電球と LED 電球の違いを実演。加えて、実験をする時の会場の設営の仕方、事故の無いようにすること、参加者全員に役割を与えることの大切さなどをお話いただきました。

その次に大西 文秀氏が「ヒトと自然の関係を環境容量としてとらえ地理情報システムを活用した可視化した情報」についてお話くださいました。ご自身が執筆された著書で第 12 回環境情報科学センター賞を受賞された「環境容量と流域圏からみた日本の未来可能性」についてもお話くださいました。

大西 文秀氏



最後に、ホームワークの「環境教育実施計画書」の記入方法が説明されました。

「2 時間をめどに作成してください」という注意を受けて、1 日目は終了。

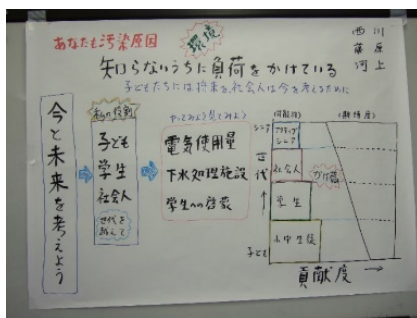
<2日目>

ホームワークを受付に提出して、2日目が始まりました。

午前中は時間割を変更して、ワークショップを行いました。

自己紹介 (5分) → 課題説明 (10分) → ディスカッション (25分) → まとめ (シート作成・5分) → 発表 (各班5分) というタイムテーブルで進行しました。

A・B・Cの3つの班に分かれて、この日提出したホームワークにもとづくテーマで発表しました。各班のテーマは以下の通りです。



「あなたも汚染原因
知らないうちに環境に負荷をかけている」



「森で食べる・遊ぶ・学ぶ」



「タンポポの生態から考える環境」



ワークショップの発表の様子

1時間の休憩の後、午後の講義が始まりました。

最初は佐々木 一善氏に ISO14001（環境マネジメントシステム）・エコアクション 21・KES（京都・環境マネジメントシステム・スタンダード）についてお話を伺いました。



佐々木 一善氏



谷 美也子氏

続いて高槻市で教員をされている谷 美也子氏が登場しました。

「環境教育の実践と安全」というテーマで、環境教育を実践する時の具体的な方法・注意点などを伺いました。

最後に大阪環境カウンセラー協会副理事の吉村氏が修了証書を授与し、2日間の研修が終了しました。

熱心に講義を受けておられた受講生の皆さんはきっと環境教育の現場でご活躍されることだと思います。